

2020年1月30日

2020年3月期第3四半期 決算カンファレンスコール

代表取締役社長
谷本 秀夫

京セラ株式会社

1. 2020年3月期第3四半期 決算概要

2020年3月期第3四半期累計 決算概要

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計		2020年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,214,417	100.0%	1,196,885	100.0%	-17,532	-1.4%
営業利益	60,576	5.0%	94,860	7.9%	34,284	56.6%
税引前利益	104,100	8.6%	141,629	11.8%	37,529	36.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	79,419	6.5%	101,265	8.5%	21,846	27.5%
設備投資額	85,109	7.0%	83,027	6.9%	-2,082	-2.4%
有形固定資産減価償却費	38,019	3.1%	45,313	3.8%	7,294	19.2%
研究開発費	52,516	4.3%	58,908	4.9%	6,392	12.2%
平均為替レート	ドル	111円	109円			
	ユーロ	129円	121円			

(ご参考) 2020年3月期第3四半期累計 為替変動による影響額 (前年同期比) : 売上高 約 -300億円、税引前利益 約 -105億円

売上高 : M&Aの貢献はあったものの、中国景気減速等の影響により部品需要が減少
利益 : 前期に構造改革に関する費用 約685億円を計上、当期はこの効果もあり増益

2020年3月期第3四半期累計 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計		2020年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	238,394	19.6%	253,754	21.2%	15,360	6.4%
半導体関連部品	193,507	16.0%	187,090	15.6%	-6,417	-3.3%
電子デバイス	278,091	22.9%	248,780	20.8%	-29,311	-10.5%
部品事業 計	709,992	58.5%	689,624	57.6%	-20,368	-2.9%
コミュニケーション	180,632	14.9%	186,100	15.5%	5,468	3.0%
ドキュメントソリューション	273,835	22.5%	267,524	22.4%	-6,311	-2.3%
生活・環境	58,512	4.8%	61,980	5.2%	3,468	5.9%
機器・システム事業 計	512,979	42.2%	515,604	43.1%	2,625	0.5%
その他	13,355	1.1%	12,510	1.0%	-845	-6.3%
調整及び消去	-21,909	-1.8%	-20,853	-1.7%	1,056	-
売上高	1,214,417	100.0%	1,196,885	100.0%	-17,532	-1.4%

2020年3月期第3四半期累計 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計		2020年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	31,213	13.1%	12,444	4.9%	-18,769	-60.1%
半導体関連部品	※1 4,836	2.5%	22,998	12.3%	18,162	375.6%
電子デバイス	52,920	19.0%	36,474	14.7%	-16,446	-31.1%
部品事業 計	88,969	12.5%	71,916	10.4%	-17,053	-19.2%
コミュニケーション	5,677	3.1%	6,937	3.7%	1,260	22.2%
ドキュメントソリューション	30,081	11.0%	27,498	10.3%	-2,583	-8.6%
生活・環境	※2 -63,894	-	-7,340	-	56,554	-
機器・システム事業 計	-28,136	-	27,095	5.3%	55,231	-
その他	1,564	11.7%	-3,133	-	-4,697	-
事業利益 計	62,397	5.1%	95,878	8.0%	33,481	53.7%
本社部門損益等	41,703	-	45,751	-	4,048	9.7%
税引前利益	104,100	8.6%	141,629	11.8%	37,529	36.1%

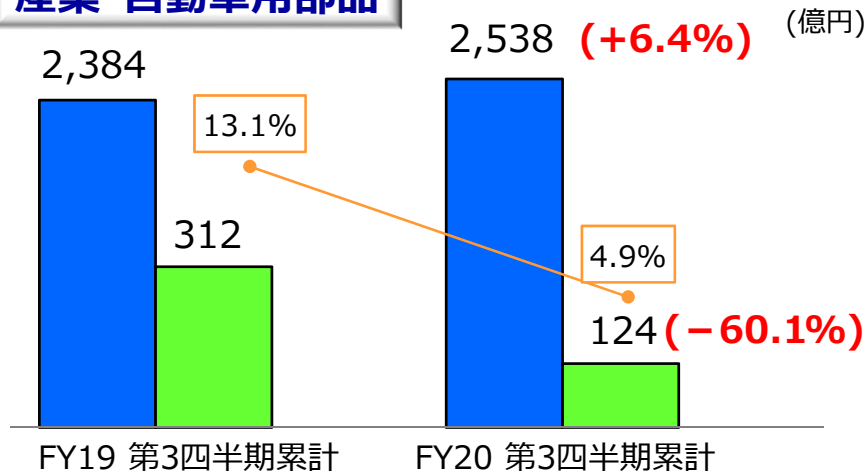
※1 有機材料事業において、有形固定資産及びのれん等の減損損失 約162億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

2020年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績（1）

■ 売上高 ■ 事業利益 —●— 利益率 () 前年同期比増減

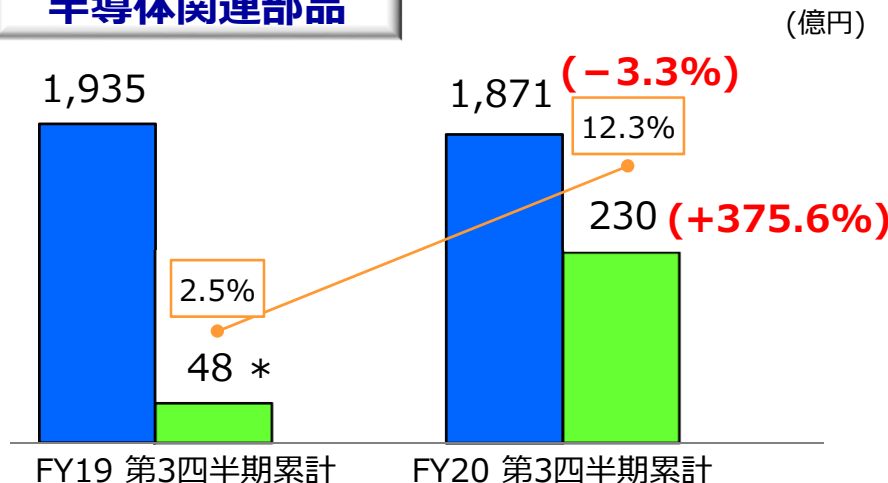
産業・自動車用部品



<増減要因>

- + M&Aの貢献による機械工具事業の売上増
- ディスプレイ等の自動車向け部品、半導体製造装置用部品等の減収
- 減収及び、前期までの高水準の設備投資に伴う減価償却費の増加もあり、減益

半導体関連部品



<増減要因>

- 中国景気減速等の影響により、減収
- + 前期に、有機材料事業で162億円の構造改革費用を計上、今期は固定費減の効果もあり、同事業は黒字化

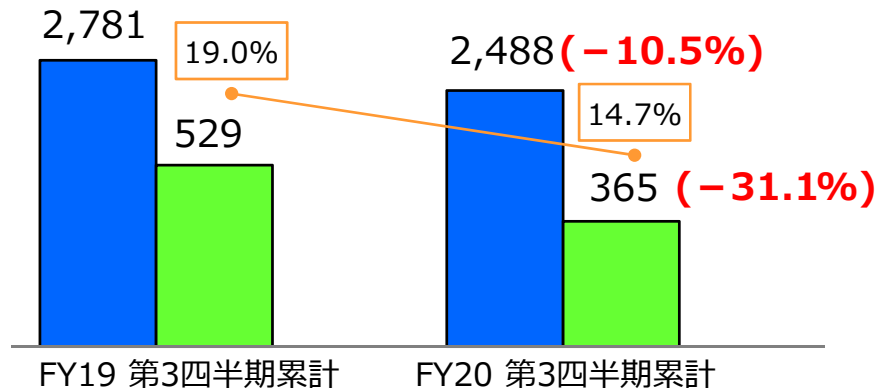
* 一時損失 約162億円を計上

2020年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績（2）

■ 売上高 ■ 事業利益 —●— 利益率 () 前年同期比増減

電子デバイス

(億円)

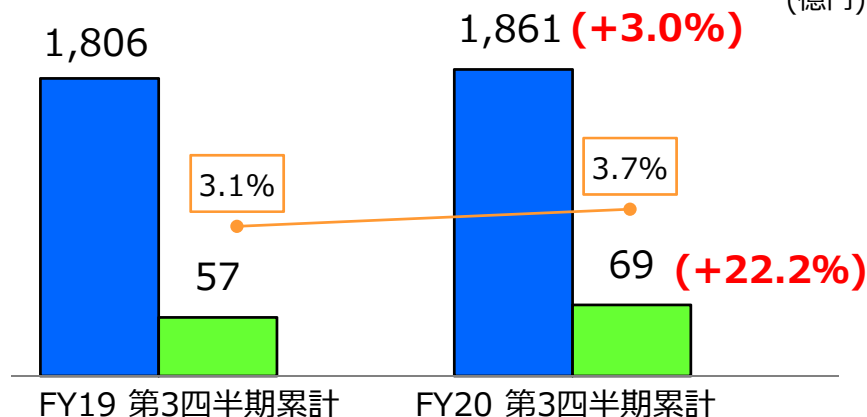


<増減要因>

- AVX Corporationにおいて、世界経済の減速によるディストリビューターでの在庫調整の継続や、自動車関連市場での需要停滞の影響を主因に減収減益

コミュニケーション

(億円)



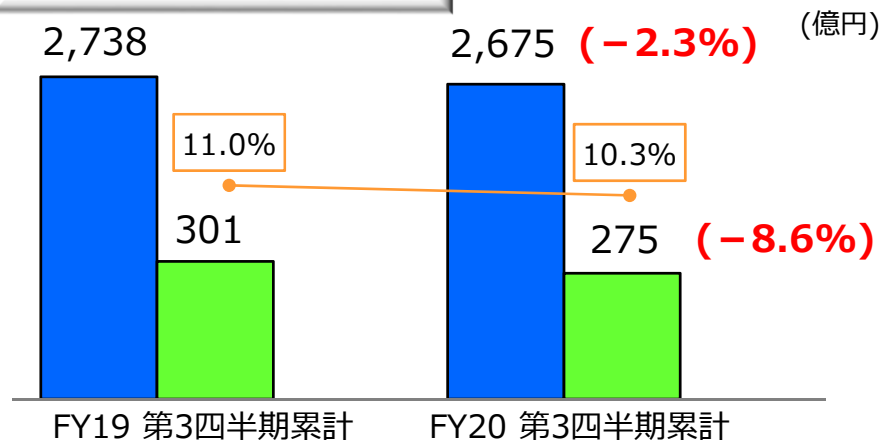
<増減要因>

- + 主に情報通信サービス事業でのエンジニアリング事業の売上増
- + 通信機器事業での原価低減等により増益

2020年3月期第3四半期累計 事業セグメント別業績（3）

■ 売上高 ■ 事業利益 ● 利益率 () 前年同期比増減

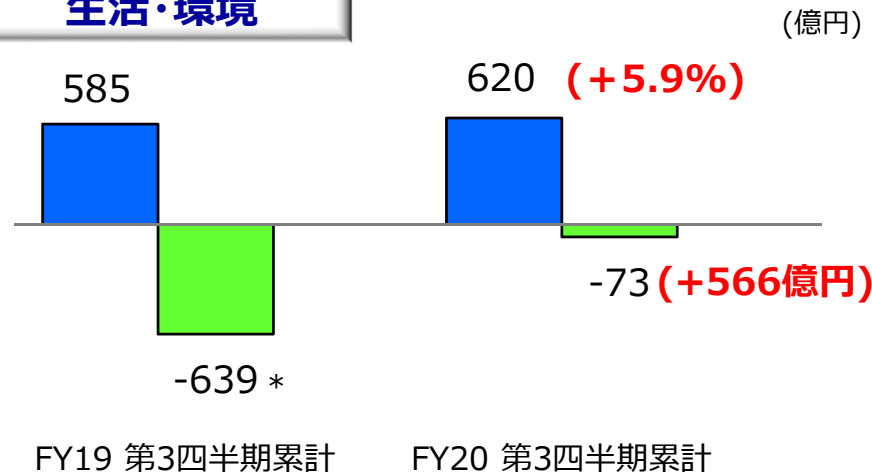
ドキュメントソリューション



<増減要因>

- 前期に実施したM&Aの貢献はあるものの、円高の影響により、減収減益
- + 生産性向上や原価低減により、利益率10%を維持

生活・環境



<増減要因>

- + 主にソーラーエネルギー事業の増収
- + 前期の一時損失523億円を除いたベースでもソーラーエネルギー事業の原価低減等により損失は縮小

* 一時損失 約523億円を計上

2. 2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想				増減金額 (増減率)		
			前回予想 (10月公表)		今回予想		前期比	前回予想比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比			
売上高	1,623,710	100.0%	1,700,000	100.0%	1,625,000	100.0%	1,290 (0.1%)	-75,000 (-4.4%)	
営業利益	94,823	5.8%	140,000	8.2%	118,000	7.3%	23,177 (24.4%)	-22,000 (-15.7%)	
税引前利益	140,610	8.7%	180,000	10.6%	165,000	10.2%	24,390 (17.3%)	-15,000 (-8.3%)	
親会社の所有者に帰属する当期利益	103,210	6.4%	125,000	7.4%	117,000	7.2%	13,790 (13.4%)	-8,000 (-6.4%)	
基本的EPS (円)	284.94	-	345.21	-	323.02	-	38.08	-22.19	
設備投資額	117,049	7.2%	120,000	7.1%	110,000	6.8%	-7,049	-10,000	
減価償却費	51,524	3.2%	65,000	3.8%	65,000	4.0%	13,476	0	
研究開発費	69,927	4.3%	80,000	4.7%	80,000	4.9%	10,073	0	
平均為替レート	ドル	111円	105円	108円					
	ユーロ	128円	120円	120円					

(ご参考) 2020年3月期予想 為替変動による影響額 (前期比) : 売上高 約 -420億円、税引前利益 約 -140億円

世界的な景気減速の影響や自動車関連市場等での需要低迷を主因に、通期予想を修正

(注) 2020年3月期予想のEPSは、2020年3月期第3四半期累計の希薄化後の期中平均株式数を用いて算出しています。
最終ページに記載の「将来の見通しに関する記述等について」にご留意ください。

2020年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (10月公表)		今回予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	314,339	19.4%	362,000	21.3%	343,500	21.1%	29,161	-18,500
半導体関連部品	249,217	15.3%	248,000	14.6%	241,500	14.9%	-7,717	-6,500
電子デバイス	364,827	22.5%	338,000	19.9%	328,500	20.2%	-36,327	-9,500
部品事業 計	928,383	57.2%	948,000	55.8%	913,500	56.2%	-14,883	-34,500
コミュニケーション	252,067	15.5%	266,000	15.6%	253,000	15.6%	933	-13,000
ドキュメントソリューション	375,147	23.1%	397,000	23.4%	375,500	23.1%	353	-21,500
生活・環境	80,114	5.0%	98,000	5.8%	92,000	5.7%	11,886	-6,000
機器・システム事業 計	707,328	43.6%	761,000	44.8%	720,500	44.4%	13,172	-40,500
その他	17,190	1.0%	15,600	0.9%	16,500	1.0%	-690	900
調整及び消去	-29,191	-1.8%	-24,600	-1.5%	-25,500	-1.6%	3,691	-900
売上高	1,623,710	100.0%	1,700,000	100.0%	1,625,000	100.0%	1,290	-75,000

2020年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (10月公表)		今回予想			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	38,450	12.2%	21,000	5.8%	16,000	4.7%	-22,450	-5,000
半導体関連部品	※1 10,932	4.4%	30,900	12.5%	28,000	11.6%	17,068	-2,900
電子デバイス	66,926	18.3%	50,000	14.8%	44,500	13.5%	-22,426	-5,500
部品事業 計	116,308	12.5%	101,900	10.7%	88,500	9.7%	-27,808	-13,400
コミュニケーション	10,393	4.1%	10,000	3.8%	10,000	4.0%	-393	0
ドキュメントソリューション	43,528	11.6%	41,300	10.4%	38,500	10.3%	-5,028	-2,800
生活・環境	※2 -67,016	-	-6,400	-	-9,000	-	58,016	-2,600
機器・システム事業 計	-13,095	-	44,900	5.9%	39,500	5.5%	52,595	-5,400
その他	660	3.8%	-5,500	-	-4,500	-	-5,160	1,000
事業利益 計	103,873	6.4%	141,300	8.3%	123,500	7.6%	19,627	-17,800
本社部門損益等	36,737	-	38,700	-	41,500	-	4,763	2,800
税引前利益	140,610	8.7%	180,000	10.6%	165,000	10.2%	24,390	-15,000

※1 有機材料事業において、有形固定資産及びのれん等の減損損失 約162億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

2021年3月期の事業環境見通し

～FY2020/3

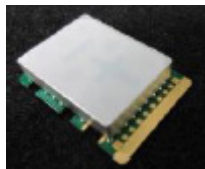
自動車関連市場・
産業機械市場の
調整継続

FY2021/3

- ・半導体市場の回復
- ・**5G関連製品**の需要の更なる増加

生産能力増強・新製品展開等による5G関連事業の拡大

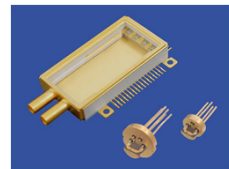
産業・自動車用部品



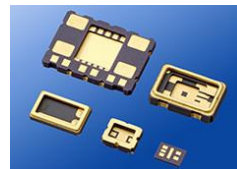
5G通信基地局向け
セラミックフィルター*

*2019年12月設立の新会社
京セラ宇宙RFテック株式会社
にて量産を開始

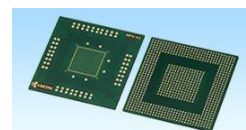
半導体関連部品



光通信用
セラミックパッケージ

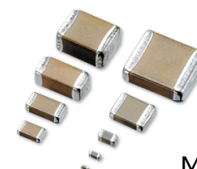


水晶・SAWデバイス用
セラミックパッケージ

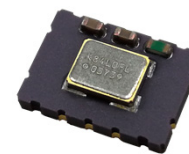


有機パッケージ

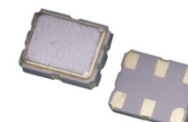
電子デバイス



MLCC



TCXO



VCXO

コミュニケーション



5G関連機器・端末

KCCS
Exceed. Succeed.

通信エンジニアリング事業

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 当社の海外における売上に由来する収益の大半に影響を与える様々な輸出リスク
- (4) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (5) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (6) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (7) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (8) 電力不足や電力費の上昇が当社の生産活動及び販売活動に及ぼす影響
- (9) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (10) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (11) 科学技術分野等の優れた人材の確保が困難となる事態
- (12) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (13) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (14) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (15) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (16) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (17) テロ行為、疾病の発生、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (18) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (19) 売掛債権の信用リスク
- (20) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (21) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (22) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (23) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。